

3Dプリンタによる 食品用ハンドスコップの試作

支援の背景

(株)沖縄トータルサービスでは、ごぼうの煮付けを生産していますが、その袋詰め作業に時間がかかっていました。同社では、作業を効率化するための道具の製作を検討していましたが、鉄工所へ発注するにあたり、どんな形状が最適か悩んでいました。

支援内容

同社の要望をもとに、一袋分のごぼうが計量でき、そのまま袋詰めできるハンドスコップを設計し、3Dプリンタで試作しました。試作したハンドスコップで、実際に作業を行って、充填量や作業性を確認し、形状の改良をしながら複数回試作を行いました。

支援の成果

事前に3Dプリンタによる試作を行ったことで、使い勝手の良いハンドスコップが設計できました。これにより、袋詰め作業にかかる時間が、かなり短縮できることが分かったので、作業員全員分のステンレス製ハンドスコップを発注することになりました。今後の生産性の向上が期待できます。



図1 試作したハンドスコップ



図2 テスト作業の様子